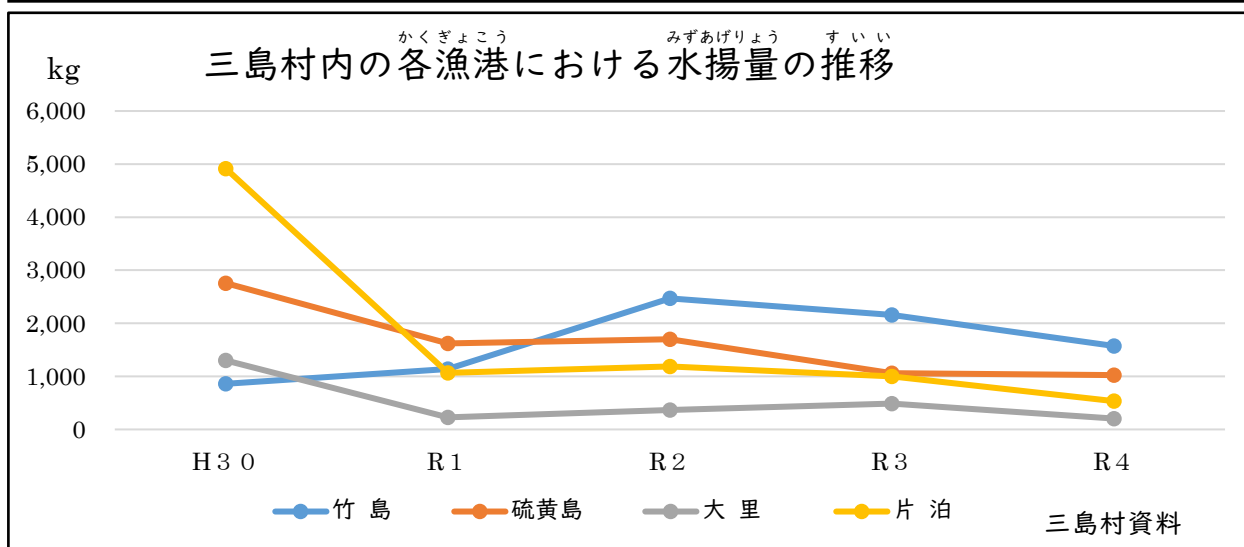
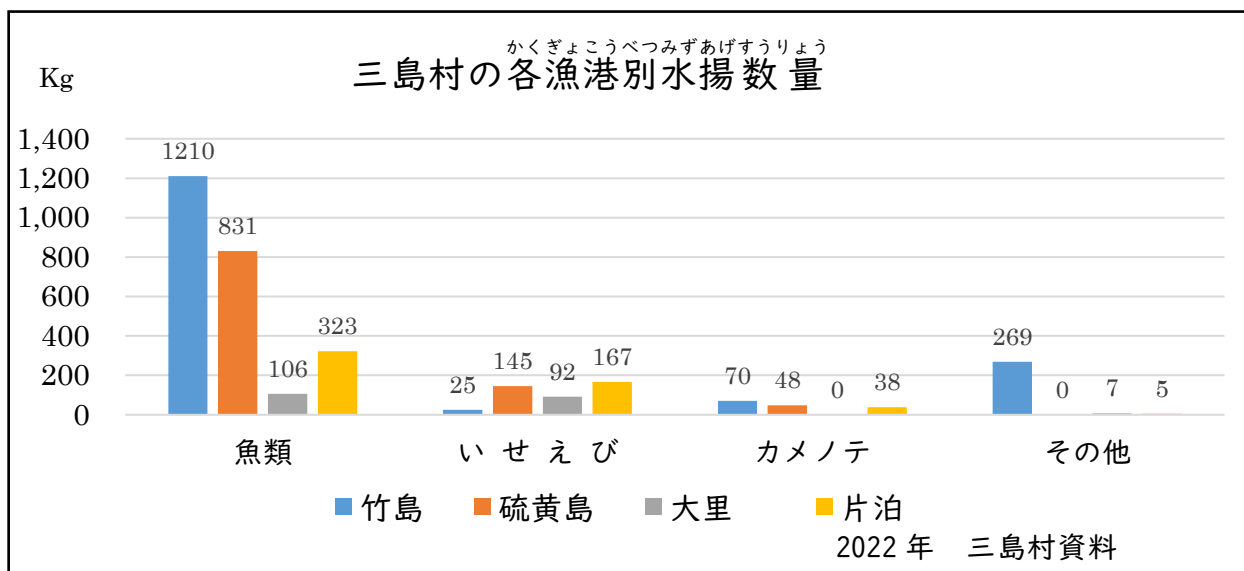


(3) 海ではたらく人びとの仕事

三島村には竹島港、硫黄島港、大里港、片泊港の4つの漁港があり、一本釣り漁や磯建網漁などが行われています。それぞれの港でとれる魚の割合はちがっています。



三島村の周りには、たくさんの魚がいます。港もよくなり、魚のとり方もくふうされてきました。とった魚を入れるための冷蔵(冷凍)庫や、生きたまま魚を入れておく活魚そうもあります。

また、フェリーでしんせん魚を鹿児島市場へ送っています。とくに、イセエビのとれるじきになると、4つの港からイセエビが生きたまま送られます。



【フェリーみしま】

【トラック】



ちゅうおうおるしゅうりしじょうぎよるいしじょう
【鹿児島市中央卸売市場魚類市場】



かつぎよ
【活魚そう】

【あみのしゅうり】



【漁のようす】



【いせえび】

しゃしん ちぎよ ほうりゆう
下の写真は、カサゴの稚魚を放流しているところです。何のためにこんなことをしているのかな。



ちぎよ
【カサゴの稚魚の放流】

漁業について調べましょう。

- どのような方法で魚をとっているのでしょうか。
- イセエビが島のまわりからいなくならないように、どのようなくふうをしているのでしょうか。